

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年9月26日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部グローバルビジネス
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年8月25日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ
留学先大学	パッサウ大学(日本語名) Universtat Passau(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語 / 英語
留学期間	2024年10月～2025年8月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 10月中旬～2月下旬 2 学期: 4月下旬～8月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約1万
創立年	1973年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 約 165 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	月 $290 \times 12 = 3480$	円	
食費	2420	円	
図書費		円	
学用品費	80	円	
携帯・インターネット費	$15 \times 11 = 165$	円	
現地交通費	390	円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	$120 \times 11 = 1320$	円	形態: 現地の政府公認民間保険
渡航旅費		200000 円	往復
ビザ申請費	60	円	
雑費	$100 \times 11 = 1100$	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	9010 (=1486650 円)	200000 円	
総計(A+B) ※円		1686650 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：ミュンヘン空港 経由地：カタール

復路 出発地：ミュンヘン空港 目的地：成田空港 経由地：カタール

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： ジェットスター・ジャパン、カタール航空 料金： 74000

復路 航空会社： カタール航空 料金： 137090 ∴合計： 211090

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： trip.com)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Braugasse) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

学校経由

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

共用キッチンにて友達を作ることができ楽しい時間を過ごすことができました。ただ別のキッチンの友達は冷蔵庫から食物が盗まれたと話していたので運次第ではあります。またロケーションは非常にいいです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

esimを使用することが多々あり便利です。またフリーWi-Fiも多くあるのであまりギガを消費しなくて済みます。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

凍結口座に1000ユーロ×滞在月分入れる必要がありそこから毎月振り込まれていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

プラグ変換器やおなじみの調味料です。基本的にはなんでも手に入ります。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 認定されれば 6 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
B2B marketing and sales management		
科目設置学部・研究科	WIWI	
履修期間	summer	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	lecture(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Dirk Totzek	
授業内容	B2B, management	
試験・課題等	Only exam	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Digital	
科目設置学部・研究科	WIWI
履修期間	summer
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
growth and development	
科目設置学部・研究科	WIWI
履修期間	summer
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
international management	
科目設置学部・研究科	WIWI
履修期間	summer
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
international trade	
科目設置学部・研究科	WIWI
履修期間	summer
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
strategic management	
科目設置学部・研究科	WIWI
履修期間	winter
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	理解しやすくお勧めです、テストもマーク形式でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
film analysis	
科目設置学部・研究科	文学部
履修期間	winter
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
deutsch as foreign language	
科目設置学部・研究科	
履修期間	winter
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
introduction to cultural studies	
科目設置学部・研究科	文学部
履修期間	winter
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
global business	
科目設置学部・研究科	WIWI
履修期間	winter
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学に向けIELTS 取得、面接準備
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	留学先の学校への手続き、寮手配
	4月～7月	航空券購入
	8月～9月	出発
	10月～12月	ビザ申請
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、春休み
	4月～7月	
	8月～9月	期末試験、帰国
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が中学生の頃から留学したい、海外に行きたいという漠然とした夢がありました。大学に入り明治大学では、口語に特化した上級英語や英語のみで進められる授業、夏季集中講座のような多くの英語プログラムがあります。そういったものに取り組むうちに自然と海外志向の友達が増え協定校留学の存在を知りました。そこでは学費面の費用が掛からず一番のネックであったものはありません。そこで海外に出てみようという挑戦と、他の授業を通して学んだ現代社会で問われる多様性を伸ばしたいと考え留学を決断しました。学費がかからないとは言え現地で生活するためのお金は必要となってきます。また、物価は日本より高くさらに円安のため資金がとて多く必要でした。そのため少しでも両親の負担を減らせるよう、日々の節制及びアルバイトにて貯金をしました。また、先輩方の報告書を見て英語力はいやでも付くが鍛えておくに越したことはない、といったことを読みました。なので通学やアルバイトのための移動時間は、TEDを通して英語に触れる機会を増やしリスニングや英語脳の定着も図りました。

キャンパス自体は前述で予想した通り、川や木々に囲まれたとても落ち着いた雰囲気でした。冬が終わると多くの学生が川沿いや草原で談話をしたりして過ごしています。またカフェテリアやベンチ、図書館前のホールなどでもたくさんの学生が輪をなして話しています。なので学生の雰囲気として落ち着いておりゆったりとした時間を過ごすといったことが挙げられます。一方でテクノミュージックのクラブなどは盛んで、週末にそこへ行く話はよく耳にしました。また、勉強にも熱心な学生が多くいたと感じています。以上から集中、リラックス、遊びをしっかりと分けそれぞれの時間を過ごしているといえます。

学習内容は主に経済、ビジネス、文化のことについて学びました。経済では日本の体系的な内容とは違い、例えば貿易におけるリカードモデルの効果を数式を通して学ぶ、といった焦点を狭く絞った専門的内容が多かったです。ビジネスではやや日本に近く様々な分野の視点をまとめて包括的に学ぶといったものが大方です。文化に関しては視点は一貫して文化的内容に即しているものの専門的知識をとくには必要とせず比較的理解しやすかったです。ただ、後者二つは開講されている科目が多くなく経済の授業を最も履修していました。